

第157回 日商簿記検定試験 1級 一商業簿記一 解説

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 総合問題 (単位：千円)

1. 商品売買

計算の手順として、B商品を計算した後、A商品の計算をする。

(1) B商品 (便宜的に第1回目の仕入単価を“Y”と置く)

<先入先出法によりBOXを作ると次のようになる>

B商品BOX		売 価	
第1回目の仕入 3,600個×Y千円	第1回目の仕入分 3,600個×Y千円	売上原価 319,140千円	海外輸出売上 ^(※1) 446,796千円
第2回目の仕入 3,100個×(Y千円+3千円)	第2回目の仕入分 510個×(Y千円+3千円)	対応	
	第2回目の仕入分 2,000個×(Y千円+3千円)		
	期末帳簿棚卸高 590個×(Y千円+3千円)		

446,796千円 ÷ 1.4(原価+利益) = 319,140千円

※1 2,898千ドル(12月販売)×@102円(販売時の為替相場)+1,400千ドル(2月販売)×@108円(販売時の為替相場)
=446,796千円

※2 Yの金額の算定は方程式で計算する

- ① $3,600 \times Y + 510 \times (Y + 3) + 2,000 \times (Y + 3) = 319,140$ 千円
- ② カッコをとる： $3,600Y + 2,510Y + 7,530 = 319,140$ 千円
- ③ Yの文字同士を足し、7,530千円は移項する： $6,110Y = 319,140 - 7,530$ 千円
- ④ 上記③を解くと $311,610 \div 6,110 = 51$ 千円 $\therefore Y = 51$ 千円

※3 参考 (B商品の仕入勘定)

		仕 入	
買 掛 金	351,000 ^(※4)	繰 越 商 品	31,860 ^(※5)
		損 益	319,140
	351,000		351,000

※4 $3,600 \times 51 + 3,100 \times 54 = 351,000$ 千円

※5 $590 \times 54 = 31,860$ 千円

(2) A商品（便宜的に第1回目の仕入単価を“X”と置く）

<先入先出法によりBOXを作ると次のようになる>

A商品BOX		売 価	
前月繰越 800個×X千円	前期繰越 800個×X千円	売上原価 582,800千円	一般売上 ^(※1) 786,780千円
第1回目の仕入分 6,600個×X千円	第1回目の仕入分 6,600個×X千円	対応	
第2回目の仕入分 8,600個×(X千円-2千円)	第2回目の仕入分 6,800個×(X千円-2千円)		
	期末帳簿棚卸高 1,800個×(X千円-2千円)	786,780千円÷1.35(原価+利益)=582,800千円	

※1 1,233,576千円(答案用紙:売上高) - 446,796円(海外輸出売上) = 786,780千円

※2 Xの金額の算定は方程式で計算する

- ① $800\text{個} \times X\text{千円} + 6,600\text{個} \times X\text{千円} + 6,800\text{個} \times (X\text{千円} - 2\text{千円}) = 582,800\text{千円}$
- ② カッコをとる： $800X + 6,600X + 6,800X - 13,600\text{千円} = 582,800\text{千円}$
- ③ Xの文字同士を足し、13,600千円は移項する： $14,200X = 582,800\text{千円} + 13,600\text{千円}$
- ④ 上記③を解くと $596,400\text{千円} \div 14,200X = 42\text{千円}$ $\therefore X = 42\text{千円}$

※3 参考（A商品の仕入勘定）

		仕 入	
買掛金及び支払手形	621,200 ^(※4)	繰越商品	72,000 ^(※8)
繰越商品	33,600 ^(※5)	損益	590,450
棚卸減耗損	6,000 ^(※6)		
商品評価損	1,650 ^(※7)		
	662,450		662,450

※4 $6,600\text{個} \times 42\text{千円}$ (第1回目仕入単価) + $8,600\text{個} \times 40\text{千円}$ (第2回目仕入単価) = 621,200千円

※5 $800\text{個} \times 42\text{千円}$ (前期末の単価) = 33,600千円

※6 $\{1,800\text{個}(\text{期末帳簿棚卸高}) - 1,650\text{個}(\text{期末実地棚卸高})\} \times 40\text{千円}$ (第2回目仕入単価) = 6,000千円

※7 $\{40\text{千円}(\text{第2回目仕入単価}) - 39\text{千円}(\text{正味売却価額})\} \times 1,650$ (期末商品実地棚卸高) = 1,650千円

※8 $1,800\text{個}(\text{期末帳簿棚卸高}) \times 40\text{千円}$ (第2回目仕入単価) = 72,000千円

(3) A商品の売上原価の算定

(借方) 仕 入	33,600	(貸方) 繰越商品	33,600
(〃) 繰越商品	72,000	(〃) 仕 入	72,000
(借方) 棚卸減耗損	6,000	(貸方) 繰越商品	6,000
(〃) 商品評価損	1,650	(〃) 繰越商品	1,650
(借方) 仕 入	6,000	(貸方) 棚卸減耗損	6,000
(〃) 仕 入	1,650	(〃) 商品評価損	1,650

※ 上記(2)参照

(4) B商品の売上原価の算定

(借方) 繰越商品	31,860	(貸方) 仕 入	31,860
-----------	--------	----------	--------

※ 上記(1)参照

2. 売上債権

(1) 受取手形の推定

		受 取 手 形	
前 期 繰 越	42,000	取立による減少	450,480
A 商品 の 売 上	411,480	前 T / B 残 高	39,000
売 掛 金	36,000		
勘定分析により逆算する	489,480		489,480

(2) 前T/Bの売掛金の推定

		売 掛 金	
前 期 繰 越	27,000	受 取 手 形	36,000
A 商品 の 売 上	375,300	現 金 預 金	590,346
B 商品 の 売 上	446,796	前 T / B 残 高	222,750
	849,096		849,096

勘定分析により逆算する

1,233,576千円(答案用紙:売上高) - 411,480千円(A商品手形売上) - 446,796千円(B商品掛売上) = 375,300千円

上記1.(1)参照

3. 前T/Bの仕入債務

(1) 支払手形の推定

		支 払 手 形	
現 金 預 金	532,000	前 期 繰 越	35,000
前 T / B 残 高	41,000	A 商品 の 仕 入	510,000
	573,000	買 掛 金	28,000
勘定分析により逆算する	573,000		573,000

(2) 前T/Bの買掛金の推定

		買 掛 金	
支 払 手 形	28,000	前 期 繰 越	54,000
現 金 預 金	446,800	A 商品 の 仕 入	111,200
前 T / B 残 高	41,400	B 商品 の 仕 入	351,000
勘定分析により逆算する	516,200		516,200

勘定分析により逆算する

621,200千円(A商品仕入高:上記1.(2)参照) - 510,000千円(A商品手形仕入) = 111,200千円

上記1.(1)参照

4. 為替予約

① 未処理事項の整理

(借方) 売 掛 金	1,400	(貸方) 前受為替差損益	4,200
(") 為 替 差 損 益	2,800		

※1 為替差損益(直々差額): { @106円(為替予約時の直物相場) - @108円(2月販売時の直物相場) } × 1,400千ドル = 2,800千円

※2 前受為替差損益(直先差額): { @109円(為替予約時の先物相場) - @106円(為替予約時の直物相場) } × 1,400千ドル = 4,200千円

② 期間配分

(借方) 前受為替差損益	1,400	(貸方) 為 替 差 損 益	1,400
--------------	-------	----------------	-------

※ 4,200千円(前受為替差損益) × 1か月(20X6年3月) ÷ 3か月(20X6年3月~20X6年5月) = 1,400千円

5. 貸倒引当金の設定

(借方) 貸倒引当金繰入	4,303	(貸方) 貸倒引当金	4,303
--------------	-------	------------	-------

※ $\{39,000 \text{千円 (前T/B: 受取手形)} + 222,750 \text{千円 (前T/B: 売掛金)} + 1,400 \text{千円 (為替予約)}\} \times 2\% \text{ (貸倒実績率)}$
 $-960 \text{千円 (前T/B: 貸倒引当金)} = 4,303 \text{千円}$

6. 固定資産

(1) 備品

減価償却

(借方) 減価償却費	864	(貸方) 備品減価償却累計額	864
------------	-----	----------------	-----

※ 1 償却率: $1 \div 5 \text{年 (耐用年数)} \times 200\% = 0.4$

※ 2 判定:

1) 償却率を使用した際の減価償却費: $\{8,000 \text{千円 (前T/B: 備品)} - 6,272 \text{千円 (前T/B: 備品減価償却累計額)}\} \times 0.4 \approx 691 \text{千円}$

2) 保証額: $8,000 \text{千円 (前T/B: 備品)} \times 0.10800 \text{ (保証率)} = 864 \text{千円}$

3) $691 \text{千円} < 864 \text{千円} \quad \therefore \text{改定償却}$

※ 3 減価償却費: $\{8,000 \text{千円 (前T/B: 備品)} - 6,272 \text{千円 (前T/B: 備品減価償却累計額)}\} \times 0.5 \text{ (改定償却率)} = 864 \text{千円}$

(2) 建物

① 建物減価償却累計額 (前T/Bの推定)

$200,000 \text{千円 (前T/B: 建物)} \div 25 \text{年 (耐用年数)} \times 5 \text{年 (20X0年4月} \sim \text{20X5年3月)} = 40,000 \text{千円}$

② 減価償却

(借方) 減価償却費	8,000	(貸方) 建物減価償却累計額	8,000
------------	-------	----------------	-------

※ $200,000 \text{千円 (前T/B: 建物)} \div 25 \text{年 (耐用年数)} = 8,000 \text{千円}$

(3) 機械装置・資産除去債務

① 機械装置 (前T/Bの推定)

$60,000 \text{千円 (購入価額)} + 5,000 \text{千円 (除去費用見積額)} \div 1.025^5 = 64,419 \text{千円}$

② 機械装置減価償却累計額 (前T/Bの推定)

1) $64,419 \text{千円 (前T/B: 機械装置)} \div 5 \text{年 (耐用年数)} \approx 12,884 \text{千円}$

2) $12,884 \text{千円} \times 4 \text{年 (20X1年4月} \sim \text{20X5年3月)} = 51,536 \text{千円}$

③ 減価償却費

(借方) 減価償却費	12,883	(貸方) 機械装置減価償却累計額	12,883
------------	--------	------------------	--------

※ $64,419 \text{千円 (前T/B: 機械装置)} - 51,536 \text{千円 (前T/B: 機械装置減価償却累計額)} = 12,883 \text{千円}$

④ 資産除去債務利息費用の計上

(借方) 資産除去債務利息費用	123	(貸方) 資産除去債務	123
-----------------	-----	-------------	-----

※ $5,000 \text{千円 (除去費用見積額)} - 4,877 \text{千円 (前T/B: 資産除去債務)} = 123 \text{千円}$

⑤ 除去時の仕訳

(借方) 機械装置減価償却累計額	64,419	(貸方) 機械装置	64,419
(借方) 資産除去債務	5,000	(貸方) 未払金	5,150
(") 資産除去債務履行差額	150		

※ $5,150 \text{千円 (除去費用実際発生額)} - 5,000 \text{千円 (資産除去債務残高)} = 150 \text{千円}$

7. 自己株式

① 科目の振り替え

(借方) 支払手数料	5,000	(貸方) 自己株式	5,000
------------	-------	-----------	-------

※ 自己株式の取得に係る支払手数料は取得原価に含めない。また、答案用紙の形式上、便宜的に支払手数料に含めているが、本来は適切な科目で営業外費用に計上する。

② 株式の発行

(借方) 仮受金	320,000	(貸方) 自己株式	60,000
		(〃) その他資本剰余金	4,000
		(〃) 資本金	128,000
		(〃) 資本準備金	128,000

※1 自己株式：{80,000千円(前T/B：自己株式)－5,000千円(支払手数料)}÷50,000株×40,000株(自己株式の処分株数)
=60,000千円

※2 その他資本剰余金：320,000千円(払込金額)÷200,000株(発行株式)
×40,000株(自己株式の処分株数)－60,000千円(自己株式の処分金額)=4,000千円

※3 資本金・資本準備金：320,000千円(払込金額)－60,000千円(自己株式)－4,000千円(その他資本剰余金)÷2
=128,000千円

③ 株式交付費の償却

(借方) 株式交付費償却	100	(貸方) 株式交付費	100
--------------	-----	------------	-----

※ 1,800千円(株式交付費)÷3年×2か月(20X6年2月～20X6年3月)÷12か月=100千円

8. 退職給付

① 未処理事項の整理

(借方) 退職給付引当金	18,000	(貸方) 仮払金	18,000
--------------	--------	----------	--------

② 退職給付費用の計上

(借方) 退職給付費用	15,120	(貸方) 退職給付引当金	15,120
-------------	--------	--------------	--------

※1 20X4年度発生の数理計算上の差異：288,000千円(期首退職給付債務)－240,000千円(期首年金資産)
+5,400千円(未認識数理計算上の差異：20X3年度発生分)
－49,800千円(前T/B：退職給付引当金)=3,600千円(不利差異)

※2 利息費用：288,000千円(期首退職給付債務)×2%=5,760千円

※3 期待運用収益：240,000千円(期首年金資産)×3%(長期期待運用収益率)=7,200千円

※4 数理計算上の差異償却(20X3年度発生分)：5,400千円(未認識数理計算上の差異)÷9年(未償却年数)=600千円

※5 数理計算上の差異償却(20X4年度発生分)：3,600千円(※1)÷10年=360千円

※6 退職給付費用：16,800千円(勤務費用)+5,760千円(※2：利息費用)－7,200千円(※3：期待運用収益)
－600千円(※4：数理計算上の差異償却)+360千円(※5：数理計算上の差異償却)=15,120千円

9. 見越し・繰延

① 費用の前払分(販売費)

(借方) 前払販売費	890	(貸方) 販売費	890
------------	-----	----------	-----

② 費用の未払い分(一般管理費)

(借方) 一般管理費	320	(貸方) 未払一般管理費	320
------------	-----	--------------	-----

③ 利息の未収分(受取利息)

(借方) 未収受取利息	399	(貸方) 受取利息	399
-------------	-----	-----------	-----

10. 法人税、住民税及び事業税の計上

(借方) 法人税、住民税及び事業税	10,900	(貸方) 仮払法人税等	4,950
		(〃) 未払法人税等	5,950

11. 参考資料

(1) 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	8,372	支払手形	41,000 ^(?)
受取手形	39,000	買掛金	41,400 ⁽⁴⁾
売掛金	222,750 ⁽¹⁾	未払金	110
繰越商品	33,600 ⁽²⁾	仮受金	320,000
仮払金	18,000	短期借入金	2,000
仮払法人税等	4,950	貸倒引当金	960
建物	200,000	資産除去債務	4,877
機械装置	64,419 ⁽³⁾	退職給付引当金	49,800
備品	8,000	建物減価償却累計額	40,000 ^(?)
土地	280,000	機械装置減価償却累計額	51,536 ^(?)
長期貸付金	70,000	備品減価償却累計額	6,272
自己株式	80,000	資本金	314,000
株式交付費	1,800	資本準備金	2,065
仕入	972,200 ^(?)	その他資本剰余金	1,241
販売費	116,744	利益準備金	2,141
一般管理費	89,600	任意積立金	24,000
支払手数料	1,100	繰越利益剰余金	72,330
支払利息	120	一般売上	786,780 ^(?)
減損損失	1,890	海外輸出売上	446,796 ⁽⁵⁾
		受取利息	288
		為替差損益	1,449
		固定資産売却益	3,500
	2,212,545 ^(?)		2,212,545 ^(?)

(2) 貸借対照表

日商株式会社		貸借対照表 20X6年 3月31日 現在		(単位：千円)	
借方科目	金額	貸方科目	金額		
現金預金	8,372	支払手形	41,000		
受取手形	39,000	買掛金	41,400		
売掛金	224,150	未払金	5,260		
貸倒引当金	△ 5,263	未払法人税等	5,950		
商 品	96,210 _(問3)	短期借入金	2,000		
前払費用	890	前受収益	2,800		
未収収益	399	未払費用	320		
建 物	200,000	退職給付引当金	46,920 _(問3)		
備 品	8,000	資 本 金	442,000		
減価償却累計額	△ 55,136	資本準備金	130,065		
土 地	280,000	その他資本剰余金	5,241 _(問3)		
長期貸付金	70,000	利益準備金	2,141		
株式交付費	1,700	任意積立金	24,000		
		繰越利益剰余金	134,225 _(問3)		
		自己株式	△ 15,000 _(問3)		
	868,322		868,322		